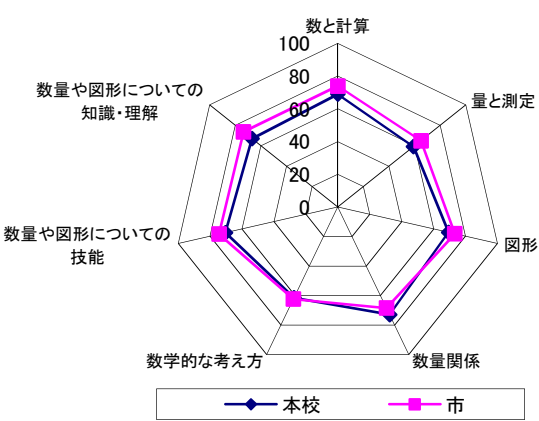


宇都宮市立西原小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	68.9	73.9
	量と測定	59.2	65.0
	図形	69.3	73.2
	数量関係	72.9	68.5
観点別	数学的な考え方	61.6	62.4
	数量や図形についての技能	70.4	74.4
	数量や図形についての知識・理解	67.0	73.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 平均正答率は、宇都宮市を下回っている。 - 帯分数のたし算の計算や分数・小数の大小の問題、小数の文章問題の立式の問題は、市の平均正答率より高い結果であった。 - 小数の計算や整数のなかま分け、問題文から答えを読み取る問題の理解が不十分であった。	- 小数のかけ算やわり算の計算は、今後も授業だけでなく朝の学習や家庭学習で繰り返し行っていく。 - 文章問題に関しては、問題の場面を線分図や図に整理し、筋道を立てて考えることができるように指導していく。
量と測定	- 平均正答率は、宇都宮市を下回っている。 - 単位量あたりの考え方を使って解く問題は、市の平均正答率よりやや高い結果であった。 - 体積や平均を求める問題の理解が不十分であった。	「体積」では、どのように求めるかをまず言葉で説明させ見通しをもてるようにした後、そのことを式で表し課題を解決していけるように指導していく。 - 平均と単位量あたりの大きさの問題については、求め方を十分に理解させた後、練習問題を与え、更に習熟を図っていく。
図形	- 平均正答率は、宇都宮市を下回っている。 - 三角形の外角を求める問題は、市の平均正答率より高い結果であった。 - 平面図形や立体図形の垂直な辺や面の関係に関する問題の理解が不十分であった。	- 今後も、具体的な操作活動を取り入れながら図形の特徴を理解させていくようにする。 - 理解が不十分であった内容については、フォローアップ問題を利用して習熟を図る。
数量関係	- 平均正答率は、宇都宮市を上回っている。 - 伴って変わる二つの数量の関係の問題は、市の平均正答率より高い結果であった。 - 計算のきまりについての問題の理解が不十分であった。	いろいろな計算問題に取り組ませ、きまりを使って計算するよさに気付かせるようにする。また、計算の途中の式をきちんと書くよう丁寧に指導する。